



令和6年度当初予算編成・組織定数改編（案）の概要
富国有徳の「美しい“ふじのくに”」づくり
～ 未来に^{はばた}翔く SDGsの理想郷 ～

予算編成・組織定数改編の方針

富国有徳の「美しい“ふじのくに”」づくり
～ 未来に^{はばた}翔く SDGsの理想郷 ～

方針1 人づくり・富づくりを着実に推進する取組

未来を拓くイノベーションの新展開

未来
・
創造

- 次世代エアモビリティ導入
- デジタルクリエイター育成
- ブルーエコノミーEXPO、起業家育成
- スポーツ医科学の活用

安全
・
安心

- バーチャルスクール開設
- 紙おむつ再資源化
- 道路メンテナンスDX
- 聴覚障害児療育モデル構築



- (1) 安全・安心な地域づくり
- (2) 持続的な発展に向けた新たな挑戦
- (3) 未来を担う有徳の人づくり
- (4) 豊かな暮らしの実現
- (5) 魅力の発信と交流の拡大

方針2 生産性の高い持続可能な行財政運営

- (1) 政策の推進に向けた組織体制の強化
- (2) 将来にわたって安心な財政運営の堅持

富国有徳の「美しい“ふじのくに”」づくり
～ 未来に^{はばた}翔く SDGsの理想郷 ～



令和6年度当初予算の規模

一般会計の規模(前年度比) **1兆3,160億円** (△543億円、△4.0%)

6年ぶりに減少

▶ うち新型コロナ等影響除き (+154億円、+1.2%)

(単位：億円、%)

区分	R6当初	R5当初	増減	伸率
一般会計	13,160	13,703	△ 543	△ 4.0
新型コロナ等影響除き	13,016	12,862	154	1.2
特別会計	8,898	8,323	575	6.9
企業会計	806	875	△ 69	△ 7.9
計	22,864	22,901	△ 37	△ 0.2

※ 新型コロナ等：新型コロナ対策+災害復旧費

富国有徳の「美しい“ふじのくに”」づくり
～ 未来に翔く SDGsの理想郷 ～



歳出・歳入の特徴（一般会計）

(単位：億円)

区 分		R6当初	R5当初	増 減	主な増減要因
歳 出		13,160	13,703	△ 543	
	義務的経費	6,485	6,392	93	高齢化に伴う社会保障経費の増 (+43)
	投資的経費	1,951	1,867	84	一般公共（沼津鉄道高架等）の増 (+35) 企業立地関連事業の増 (+43)
	そ の 他	4,724	5,444	△ 720	新型コロナ関連事業の減 (△601)
歳 入		13,160	13,703	△ 543	
	一般財源等	9,841	9,787	54	企業収益の回復による法人二税などの増 (+80)
	特定財源	3,319	3,916	△ 597	国庫支出金の減（新型コロナ関連ほか△689）



令和6年度のポイント

I 能登半島地震対応

- 能登半島地震の被災地支援
- 顕在化した課題を教訓とした県内災害対策

II イノベーション

- 先進的でチャレンジ性のある取組をイノベーション事業等として予算を重点配分
- 複数年度の予算措置を念頭に、優先的に職員配置

III こども・子育て

- こども・子育て世帯の経済支援や環境整備を充実
- 国の異次元の少子化対策に呼応

IV スポーツの総合産業化

- 本県の豊富な地域資源と知見を融合した
スポーツの総合産業化（観光や医療産業等との融合）



I 能登半島地震対応

被災地支援

人命救助、災害復旧支援を迅速かつ機動的に実施

1億7,100万円

(R5予備費:1億2,300万円、R6当初:4,800万円)

R5
 対
 応

発災当日から、現地へ派遣

- 人的支援：行政204人、医療従事者等462人、消防1,491人、警察239人 **計2,396人**
(2/9現在累計：実人数)
- 物的支援：被災地への食料支援、物資輸送
- 避難受入：被災者に県営住宅を無償提供

県内災害対策

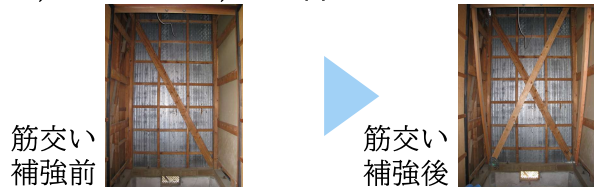
木造住宅倒壊や大規模火災等の顕在化した課題への対応

99億3,800万円

木造住宅耐震化支援

プロジェクト「TOUKAI-0」総合支援事業費
 (住宅耐震化分)

- 木造住宅の耐震化を促進
 - ・耐震補強助成件数
 1,000 → 1,100件



事業費 4億6,900万円

住宅火災対策

地震・津波対策等減災交付金
 (感震ブレーカー対策分)

- 電気火災を防止する
 感震ブレーカーの設置を促進



感震ブレーカー

事業費 1億3,200万円

孤立集落対策

- 災害対策用ドローン整備事業費 (新規)
- 医薬品等の輸送用ドローンを整備
 ・4地域局各1台(10kg積載可)

事業費 1,900万円

災害激甚化対策事業費

- 孤立化の可能性が高い地域の警察施設に衛星通信設備等を整備

事業費 8,800万円



Ⅱ イノベーション①

時代の急速な変化に的確に対応し、
未来に向けて、持続可能で安心して
暮らせる社会を創造するため、
大胆な発想で現状を打破する必要

- 先進的でチャレンジ性のある取組に
予算を重点配分
- 複数年度の予算措置を念頭に、
優先的に職員を配置

事業費・職員

2億4,500万円

9人増員

未来
・
創造

- 次世代エアモビリティ導入
- デジタルクリエイター育成
- ブルーエコノミーEXPO、起業家育成
- スポーツ医科学の活用

安全
・
安心

- バーチャルスクール開設
- 紙おむつの再資源化
- 道路メンテナンスDX
- 聴覚障害児療育モデル構築

※ 重点課題推進枠で実施



Ⅱ イノベーション② <未来・創造>

新 次世代エアモビリティ導入

☞ 全国に先駆けた空飛ぶクルマ等の先進導入地域

次世代エアモビリティ導入促進事業費（新規）

● 3次元点群データの活用や航空サービス企業と連携

- ・ R6 : ロードマップ策定
- ・ R7～ : シミュレーション実証実験



動画 次世代エアモビリティ動画

事業費・職員

3,300万円、+1人

新 ブルーエコノミーEXPO、起業家育成

☞ 最先端技術・人材の集積

マリンバイオ産業振興事業費・スタートアップ支援事業費

- ブルーエコノミーEXPOの開催 (R6.7月) ほか
- ネクストイノベーター創出プロジェクトの展開
 - ・ 対象：県内高校生(10チーム)
 - ・ 海外トップレベルのスタートアップ招へい

事業費・職員

5,800万円、+3人

▶ (うち、マリンバイオ：4,000万円、スタートアップ：1,800万円)

新 デジタルクリエイター育成

☞ 高度なデジタル人材が活躍する地域づくり

仮想空間デジタルクリエイト分野の人づくり・仕事づくり事業費（新規）

- 県内教育機関への優秀な指導者の招へい（ゲーム分野など）
- 学生、県内企業の交流・共創の場を開設（SHIP ほか）



事業費・職員

2,000万円、+1人（再掲）

新 スポーツ医学の活用

☞ 全国のモデルとなるスポーツ医学によるアスリート支援

スポーツ医学機能推進事業費（新規）

- 自転車ハイパフォーマンスセンター（伊豆市）と連携
- プロチームの分析結果をジュニア競技力強化に展開



計測機器

事業費・職員

1,000万円、+1人



Ⅱ イノベーション③ <安全・安心>

新 バーチャルスクール開設

☞ 仮想空間に不登校のこどもの「学び場」を構築

バーチャルスクール推進事業費（新規）

●メタバースを活用した オンラインの交流・体験・学び

- ・R6：構築・試行
- ・R7：本格稼働



事業費・職員

2,000万円、+2人

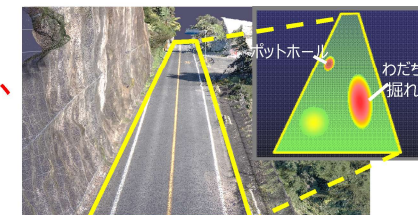
新 道路メンテナンスDX

☞ 自治体初の効率的な維持管理手法を確立

インフラメンテナンスデジタル活用推進事業費（新規）

●3次元点群データ等を活用 したAIによる異常箇所検出、 補修計画の立案

- ・R6：下田市
- ・R7～8：他地域に展開
- ・R9～：全県展開



点検データによる
 異常箇所の検出

事業費・職員

1,500万円、+1人

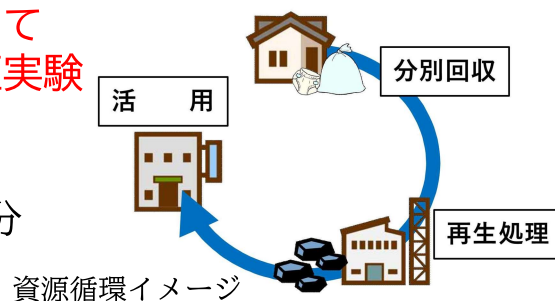
新 紙おむつの再資源化

☞ 全国に先駆けた静岡モデルを構築

廃棄物の再資源化モデル構築事業費（紙おむつの再資源化）（新規）

●市町や事業者と協働して 再資源化の先駆的実証実験

- ・R6：2箇所
- ・R7～：拡大
- ・R12～：県人口の半分
 以上に拡大



事業費・職員

2,000万円、+1人

新 聴覚障害児療育モデル構築

☞ 全国初の療育プログラム

聴覚障害児の療育モデル事業費（新規）

●オーストラリアの療育手法を 取り入れたパイロットモデル

- ・R6：体制整備
- ・R7～9：モデル実施
 （毎年10人ずつ拡大）
- ・R10～：本格稼働



事業費

6,900万円



Ⅲ こども・子育て①

- 多くの若者が将来に不安を抱え、
結婚や希望する数の子どもをもつ
ことができない状況
- 若年人口は加速度的な減少の危機

- 全ての子育て世帯を切れ目なく支援
- 子育てに関わる経済的支援の強化、
サービスの拡充

事業費

922億円 (+35億円、+3.9%)

<世代別の主な事業>

結婚・妊娠・出産	保育・未就学児	小学生・中学生	高校生～若者
<ul style="list-style-type: none"> ●ふじのくに出会いサポートセンターの運営 ●不妊治療費の負担軽減 ●男性育児休業取得者への応援手当支給 	<ul style="list-style-type: none"> ●保育士配置基準の改善（4・5歳児） ●こどもの医療費の負担軽減 ●児童扶養手当の拡充（多子加算の拡充） 	<ul style="list-style-type: none"> ●フリースクールへの支援 ●施設で暮らすこどもの学習費等の支援充実 ●医療的ケア児支援体制の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ●児童手当の拡充（高校生年代まで） ●私立学校の授業料減免の拡充 ●県立学校の教育環境の充実



Ⅲ こども・子育て②

新 不妊治療費（先進医療）助成

- 保険適用外の先進医療費を支援
 - ・ 補助率7/10、本人負担3/10
 - 上限5万円/回 ほか



顕微授精

事業費

1億3,400万円

児童・生徒サポート関連事業

- 新 フリースクール運営に対する支援
 - ・ 補助率1/2（上限100万円）
- スクールカウンセラー（372人工）
- スクールソーシャルワーカー（72人工）



フリースクール

事業費

5億5,000万円

新 男性育児休業取得促進事業費助成

少子化対策関連事業（うち、男性育休分）

- 国に先駆けて、育児休業を取得した中小企業の男性従業員への支援金を拡充
 - ・ 上限5万円/人



育児をする男性

事業費

1,500万円

児童手当給付費負担金

子育て世帯支援関連事業（うち、児童手当分）

- 拡 児童手当の拡充（R6.12月支給分～）
 - ・ 所得要件：制限撤廃
 - ・ 支給期間：15歳 → 高校生年代まで
 - ・ 支給額：第3子以降は一律3万円/月

区分	0～3歳未満	3歳～高校生年代
第1、2子	1万5千円/月	1万円/月
第3子以降	3万円/月	

事業費

71億円



IV スポーツの総合産業化

県内でプロチーム（野球、卓球等）の増加や、武道ツーリズムなどの新たな動き



本県の豊富な地域資源と知見を融合した「スポーツの総合産業化」を促進

事業費

7億2,000万円（+1億1,100万円、+18.3%）

新 静岡県×プロスポーツチーム

スポーツチーム連携推進事業費（新規）

- プロチームと連携した地域活性化・ビジネス創出

- ・500万円/チーム
- ・スポーツ教室開催

ほか



くふうハヤテベンチャーズ静岡

事業費

2,900万円

スポーツ×ツーリズム

スポーツ交流推進事業費 ほか

- 新ラグビーWC 5周年記念日本代表戦の誘致
- 武道・サイクルツーリズムの推進



日本対アイルランド戦

事業費

1億1,200万円

スポーツ×温泉

伊豆ヘルスケア温泉イノベーション推進事業費（うち市町取組促進分）

- 新温泉を活用した新たなビジネスモデルの創出
- ・補助率1/2（上限300万円）、6件程度

事業費

1,800万円

スポーツコミッション

スポーツコミッション推進事業費

- 国際的な大規模スポーツ大会等の誘致 ほか
- ・補助率1/2（上限500万円）

事業費

5,100万円

富国有徳の「美しい“ふじのくに”」づくり
 ～ 未来に翔く SDGsの理想郷 ～



1 人づくり・富づくりを着実に推進する取組

- (1) 安全・安心な地域づくり
- (2) 持続的な発展に向けた新たな挑戦
- (3) 未来を担う有徳の人づくり
- (4) 豊かな暮らしの実現
- (5) 魅力の発進と交流の拡大



(1) 安全・安心な地域づくり①

新たなステージに入った水災害対応

課題



2年連続（R4～5）で甚大な水災害が発生
水災害は新たなステージに入ったと認識
あらゆる関係者が協働して取り組む
「流域治水」の一層の推進が必要

対応



本県独自の水災害対策プランを強力に推進
・対象：14→21地区（敷地川、巴川 ほか）
・目標：10年間で床上浸水被害を解消・低減

防災・減災対策の強化

新地震被害想定検討事業費

- 南海トラフ地震の第5次地震被害想定項目や検討手法を整理
(災害関連死、社会状況の変化、防潮堤等の防災対策反映 ほか)

事業費 1,100万円

地域防災力の向上関連事業

- 被災者と行政等をつなぐ被災者支援コーディネーターの育成
(35人)



事業費 1,400万円

盛土対策の推進

盛土対策関連事業

- 盛土規制法に基づく既存盛土分布調査
- 衛星を活用した不適切盛土の監視（富士山麓→県内全域）

事業費 9億4,900万円

(1) 安全・安心な地域づくり②

医療・介護・福祉分野の人材確保

医師確保関連事業

- 医学修学研修資金の貸与（新規枠120人）
- 拡 配置調整を行う医師を増員（5人→6人）

事業費 18億6,400万円

看護職員確保対策関連事業

- 看護職員養成所等の学生への修学資金の貸与（新規枠120人）

事業費 5億2,000万円

介護・障害福祉人材確保関連事業

- 新 (仮称) 国際介護人材サポートセンターの開設
- 新 外国人職員の新規受入のための生活費支援（上限20万円/施設）ほか

事業費 7億3,800万円

安心して暮らせる医療・福祉の充実

新 救急安心電話相談運営事業費

- 医療機関や救急車利用の助言を行う電話相談窓口（#7119）を設置（R6.10月～）
 - ・ 本格実施：R7～
- <利用時間>
 - ・ 平日：18時～翌8時
 - ・ 土曜日：13時～翌8時
 - ・ 日・祝日：終日



救急搬送

事業費 6,200万円

介護施設整備関連事業

- 新 広域型介護施設の大規模修繕に対する支援 ほか
 - ・ 補助率3/4（上限123万円/床）

事業費 17億100万円



(2) 持続的な発展に向けた新たな挑戦

地域企業への脱炭素経営の導入加速化

脱炭素社会実現関連事業

- 中小企業、個人事業主等の省エネ設備導入等を支援（補助率1/2 ほか）
- 新脱炭素経営を支援するSDGs・ESG金融コンソーシアム（仮称）の設立

事業費 6億3,500万円

自然環境の保全

南アルプス関連事業

- 新南アルプスユネスコエコパーク10周年連携事業の実施
 - ・ デジタル写真 動画コンクール
 - ・ VRによる情報発信 ほか



南アルプス
 （赤石岳）

事業費 1億700万円

次世代エネルギーの創出支援

再生可能エネルギー等導入促進関連事業

- 新災害時に強いエネルギー供給モデル「地域マイクログリッド」の構築
 - ・ 補助率1/6
 - ・ 清水港日の出地区 ほか



清水港

事業費 4億9,400万円

生物多様性保全推進関連事業

- 新30by30の達成に向けて、県の自然ふれあい施設等の生物多様性保全地域への登録を推進
 - ・ 目標：2030年までに県内陸地の30%以上を健全な生態系として保全
 - ・ 環境省が認定するOECMの取得 ほか

事業費 4,000万円

(3) 未来を担う有徳の人づくり

行きたい学校づくりの推進

新「行きたい学校づくり」推進事業費

- 「高校のあり方に関する基本計画」を具現化した学びを展開（4テーマ、20校程度）



ICT活用による授業

事業費

6,000万円

新センター配信型遠隔教育推進事業費

- 遠隔授業配信センターの設置による小規模校等とのネットワーク構築（モデル4校）



遠隔授業の様子

事業費

1,300万円

全ての子どもの学び場の確保

医療的ケア児等支援関連事業

- 特別支援学校への看護師配置（69人 → 81人）
- 地域の支援体制を強化するスーパーバイザー配置（+1人）



学校での医療的ケア

事業費

1億2,700万円

活躍しやすい環境の整備と働き方改革

新フェムテックによる女性活躍推進事業費

- 企業のフェムテック導入等を支援（導入モデル10社）

<フェムテック>

女性の健康課題をテクノロジーで解決する製品やサービス

事業費

1,700万円



(4) 豊かな暮らしの実現①

スタートアップやリーディング産業の育成

スタートアップ支援事業費

- **新** 首都圏スタートアップとの共創拠点の設置 (CIC Tokyo)
 - ・ 職員駐在 2人
- **新** 県内実証フィールドを活用した伴走支援 ほか



事業費

2億4,700万円

先端産業創出プロジェクト関連事業

- 革新的な研究開発や事業化を促進
 - ・ CNF : コンセプトカーの試作 **新**
 - ・ MaOI : ブルーテッククラスターアライアンスへの加盟 **新**
 - ・ ChaOI : 輸出に向けた有機茶生産の拠点化支援



安全装置付食品加工バンドソー



CNF コンセプトカー (イメージ)
© トヨタ車体株式会社

事業費

23億3,400万円

中小企業の持続的成長

中小企業等支援関連事業

- **新** 中小企業等の経営力や収益力向上の取組を支援
 - ・ 補助率 2/3 ほか
 - ・ 物価高騰枠 : 1億1,000万円
 - ・ 賃金引き上げ枠 : 3,500万円

事業費

32億1,400万円

中小企業向制度融資促進費助成

- 中小企業等の経営改善と安定に必要な資金調達を支援
 - ・ 融資枠 : 1,200億円
 - うちコロナ資金借換枠 : 350億円

利子補給額

20億7,200万円

(4) 豊かな暮らしの実現②

農林水産業の支援

新 県産飼料自給率向上対策事業費

- 輸入飼料から県産飼料への転換を促進（3タイプ）



事業費

2,600万円

新 木材生産加速化（担い手育成型）モデル事業費助成

- 集約化が困難な生産適地の木材を産出する森林施業を効率化（10ヶ所）



事業費

5,000万円

新 「海業」 推進事業費助成

- 漁港、漁村、景色等を資源に観光客等を呼び込む新たな取組を支援



事業費

1億円

移住・定住の促進

移住・定住関連事業

- 東京圏からの移住者に移住・就業支援金を支給
 - ・ 単身：60万円（定額）
 - ・ 世帯：100万円（定額）
 - 18歳未満の子ども：100万円/人加算

事業費

5億9,000万円

しずおかUIターン就職支援事業費

- 新 インターンシップ導入相談窓口の設置
- 新 地方就職学生支援金の支給（5,940円以内/人）

事業費

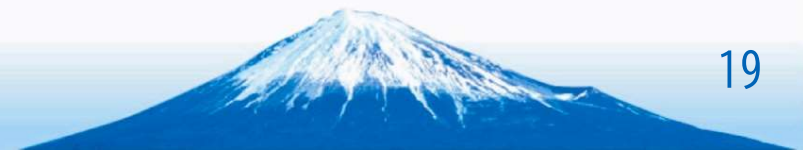
7,600万円

ふじのくにライフスタイル創出住宅リフォーム事業費助成

- 仕事と子育てを両立する職住一体の住環境を整備（補助率1/2、上限25万円）

事業費

9,000万円



(5) 魅力の発信と交流の拡大

富士山オーバーツーリズム対策の強化

富士山世界遺産関連事業

- **新**開山期における入山管理システムの社会実験
- 富士山富士宮口五合目来訪者施設（仮称）暫定施設の設置に関する検討



事業費

2億8,400万円

浜名湖花博2024の開催

浜名湖花博20周年記念事業開催事業費



浜名湖花博2024 PR画像



浜名湖ガーデンパーク

- 浜名湖ガーデンパーク会場 : 4/6～6/2
- はままつフラワーパーク会場 : 3/23～6/16

事業費

2,500万円

観光産業の力強い回復

観光関連事業

- インバウンド需要回復のための誘客対策強化
- **新**宿泊業の業務効率化や社員寮整備を支援

事業費

24億2,900万円

開港15周年を契機とした利用促進

空港振興関連事業

- 航空路線復活のための就航促進
- 富士山静岡空港開港15周年を契機とした利用促進
- **新**空港地上支援業務を担う人材確保支援

事業費

32億9,600万円

地域外交の深化と通商の実践

地域外交関連事業

- **新**インド訪問団派遣、ネパール人材確保 ほか

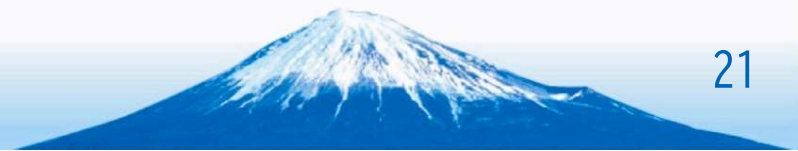
事業費

7,800万円

2 生産性の高い持続可能な行財政運営

(1) 政策の推進に向けた組織体制の強化

(2) 将来にわたって安心な財政運営の堅持



政策の推進に向けた組織体制の強化

未来・創造

スタートアップへの支援を通じ、様々な地域課題の解決に取り組むため、必要な体制を整備する。

スタートアップ支援体制の強化

- 専門人材の配置による支援体制の強化
 - ・ 東京のスタートアップ拠点に職員が駐在(2人体制)
 - ・ スタートアップに精通した専門人材を採用 (県庁1人、東京駐在1人)



安全・安心

激甚化する自然災害への対応を始めとした安全・安心な地域づくりのため、必要な体制を整備する。

災害からの復旧・復興対応

- 令和5年台風第2号災害からの早期復旧
 - ・ 土木事務所の増員(+4人)
- 熱海市伊豆山地区土石流災害からの早期復興
 - ・ 熱海土木事務所の増員(+1人)

防災・減災対策の推進

- 新たな地震被害想定の方策
 - ・ 危機政策課の増員(+2人)

不適正な盛土に対する安全対策

- 盛土規制法への対応や、不適正盛土の適正化
 - ・ 盛土対策課の増員(+2人)

将来にわたって安心な財政運営の堅持①

対応方針

- 厳しい財政状況を踏まえ、**当初予算編成に先立ち、歳出・歳入の見直しを前倒して実施**
- 予算編成時の更なる見直しを加え、令和6年度当初予算編成に反映

事業見直し

歳出・歳入の見直しにより89億円の財源を捻出

(単位：億円)

区 分	見直し額		備 考
	R5当初	R6当初	
歳出の見直し	36	61	・補助事業・年次計画事業の見直し ・過去の決算等を踏まえた計上額の適正化 ほか
歳入の確保	37	28	・国庫、外部資金の更なる確保 ・土地等の未利用財産の売却 ほか
計	73	89	

将来にわたって安心な財政運営の堅持②

歳出の見直し

61億円 (605事業)

ペーパーレス化の推進

- 全庁でペーパーレス化を推進し、印刷物を削減
 - ・ 複写機：△15台
 - ・ 印刷枚数：対R3比 △964万枚



書類廃棄作業

見直し額

△2,500万円

補助事業・年次計画事業の見直し

- リーディング産業の分野別助成事業を一本化し、分野横断的に優良事案を採択
- 複数の中小企業向け補助制度を統合し、弾力的な制度に改善 ほか



研究の様子

見直し額

△17億2,600万円

歳入の確保

28億円 (100件)

寄附金（ふるさと納税等）の活用

- (仮称) 動物愛護センター整備 ほか
 - ・ クラウドファンディングにより、施設建築や運営等に民間資金を活用
 - ・ ドッグランやふれあいルームなどの新しいコンセプトを導入



動物愛護センター

確保額

+2億9,200万円

土地等の未利用財産の売却

- 職員住宅の売却 ほか
 - ・ 知事部局、教育委員会、警察が所有する職員住宅の共同利用による集約化等を進め、売却を推進



職員住宅

確保額

+13億5,500万円

富国有徳の「美しい“ふじのくに”」づくり
～ 未来に翔く SDGsの理想郷 ～

将来にわたって安心な財政運営の堅持③

財源不足額

予算編成を通じて、財源不足額を57億円圧縮

(単位：億円、%)

区 分	R5 当 初 予算編成後	R6当初		
		部局調整案 公 表 時 (A)	予算編成後 (B)	増 減 (B - A)
歳 出	13,703	13,285	13,160	△ 125
歳 入	13,165	12,673	12,605	△ 68
財源不足額	△ 538	△ 612	△ 555	△ 57

県債残高 (見込)

通常債は212億円減少の見通し (新規発行を償還の範囲内に抑制)

(単位：億円)

区 分	R5年度末	R6年度末	増 減
一 般 会 計	28,138	27,487	△ 651
通 常 債	16,262	16,050	△ 212

富国有徳の「美しい“ふじのくに”」づくり
 ～ 未来に翔く SDGsの理想郷 ～



飞翔